

日本の半導体関連上場企業 2023 年業績は低調、24 年は再成長ねらう

半導体産業の調査研究を行っている SRL は、半導体関連上場企業 132 社の 2023 年度業績を集計、分析した。

対象は、半導体事業を収益の柱としている企業で、シリコンウェハーなど材料 27 社、半導体製造装置 45 社、トランジスタ、メモリなど半導体製品 45 社、半導体販売の商社 20 社。

半導体関連株式公開企業 132 社の 2023 年度業績集計
金額単位=100 万円、変化率=前年度比増減

分野	企業数	連結売上高		営業利益		経常利益		純利益	
		金額	変化率	金額	変化率	金額	変化率	金額	変化率
材料	27	6,539,988	-9.6%	1,153,454	-25.0%	1,084,595	-31.4%	710,516	-33.9%
製造装置	45	5,866,529	-5.3%	1,199,595	-13.9%	1,112,865	-21.8%	812,355	-36.1%
半導体・関連ソフト	40	3,135,132	-0.7%	585,094	-12.7%	645,932	1.5%	705,448	59.7%
商社	20	5,180,294	-2.7%	221,079	-5.3%	199,597	-7.3%	144,716	-1.5%
合計	132	20,621,943	-5.4%	3,159,222	-17.6%	3,042,989	-21.1%	2,373,035	-19.1%

出所=SRL

132 社全体の集計結果は表の通り。23 年度(24 年 3 月期基準)の対象 132 社の売上は総計で 20.62 兆円、前年度から 5.4%減、1 年前は 20%の伸びだったことから当期は落ち込んだ。分野別では、当期で比較的堅調だったのは「半導体・関連ソフト」および「商社」、これに対して「材料」、「製造装置」は減収減益が目立った。前者は、国内市場が堅調だった一方、後者は世界市場の落ち込みに連動したとみられる。

上位 5 社が売上 1 兆円超

売上額の上位企業ランクは 7 位まで前年度から変わらない。構成も材料、製造装置、半導体製品それから商社とこの産業を構成する主要企業が顔を揃えている。うち上位 5 社

の売上げが 1 兆円超と海外の競合企業と比べても見劣りしない規模。前年度は 2 兆円台が東京エレクトロン(TEL)を含め 2 社だったが、製造装置市場の低迷から TEL は脱落した。

132 社の売上金額と順位

順位	会社名	売上高(100 万円)	増減%	最高更新☆
1	信越化学工業	2,414,937	-14.0%	
2	東京エレクトロン	1,830,527	-17.1%	
3	ルネサスエレクトロニクス	1,469,415	-2.1%	
4	レゾナック・ホールディングス	1,288,869	-7.5%	
5	マクニカホールディングス	1,028,718	-0.1%	
6	ニコン	717,245	14.2%	
7	加賀電子	542,697	-10.8%	
8	レスター	512,484	5.2%	☆
9	SCREEN ホールディングス	504,916	9.6%	☆
10	アドバンテスト	486,507	-13.2%	
～				
	総計	20,621,943	-5.4%	

利益額では信越が圧倒的、時価総額では TEL

経常利益額のランキングでは対象 132 社中、上位 3 社まで前年度から順位は変わらない。信越化学工業が売上同様常にトップの座を確保、2 位の東京エレクトロンとは 2 倍近い違いをみせ、高収益を示している。このところ話題を呼ぶ時価総額では 24 年 5 月の段階で信越化学工業の 11.9 兆円に対し東京エレクトロンは 16.8 兆円とこの 1 年で逆転している。

132 社の経常利益額と順位				
順位	会社名	経常利益額 (100 万円)	増減 %	最高 更新
1	信越化学工業	787,228	-22.8%	
2	東京エレクトロン	463,185	-25.9%	
3	ルネサスエレクトロニクス	422,173	16.5%	☆
4	ディスコ	122,393	9.0%	☆
5	SCREEN ホールディングス	94,279	21.8%	☆
6	アドバンテスト	78,170	-54.4%	
7	SUMCO	72,627	-34.8%	
8	ローム	69,200	-36.8%	
9	レーザーテック	63,668	89.6%	☆
10	マクニカホールディングス	61,966	9.0%	☆
～				
	総計	3,042,989	-21.1%	

3 位のルネサスエレクトロニクスは減収ながら増益で、利益志向を示した。ここまでは前年と同じ順位だが、それ以降、ディスコ、SCREEN ホールディングス、レーザーテックの製造装置各社は増益を確保、強さをみせた。

20 社が売上、利益ともに最高更新

当期で売上、利益ともに最高記録を更新したのは 20 社で、輝く成果を達成した。内訳は材料 1 社、製造装置 10 社、半導体製品・ソフトウェア 6 社それから商社 3 社の構成。

「売上」、「利益」ともに最高更新企業

「材料」

住友ベークライト

「製造装置」

A&D ホロン

クエスト

芝浦メカトロニクス

SCREEN ホールディングス

タカトリ

タツモ

ディスコ

ティアンドエス

野村マイクロ・サイエンス

レーザーテック

「半導体製品・ソフト」

NSW

ソシオネクスト

テックポイント

テラプローブ

PKSHA Technology

PCI ホールディングス

「商社」

立花エレテック

東京エレクトロンデバイス

萩原電機ホールディングス

利益率 大手が上位に食い込む

各分野における利益率(売上高に対する経常利益額比率)上位 5 社を SRL は毎年集計している。最近の傾向は、売上での大手企業が利益率でも上位に位置することが増えたことである。半導体分野は新技術の導

入など変化が速く、市場の変化を含めてそれに素早く対応できる中小企業や新興企業が高い利益率を確保する例が内外でみられてきた。

経常利益率での業種分野別 上位5社

2021年度－2023年度

		2021年度		2022年度		2023年度	
		社名	%	社名	%	社名	%
材 料	1	トリケミカル研究所	45.7%	イーディービー	47.3%	MARUWA	34.3%
	2	MARUWA	35.3%	トリケミカル研究所	44.8%	信越化学工業	32.6%
	3	信越化学工業	33.5%	信越化学工業	36.3%	トリケミカル研究所	29.1%
	4	新光電気工業	27.9%	MARUWA	36.0%	RS Technologies	28.8%
	5	RS Technologies	25.5%	RS Technologies	31.1%	テクノクオーツ	22.5%
製 造 装 置	1	レーザーテック	37.6%	ディスコ	39.5%	レーザーテック	41.8%
	2	ディスコ	36.4%	レーザーテック	37.2%	ディスコ	39.8%
	3	東京エレクトロン	30.0%	ローツェ	32.1%	ローツェ	29.0%
	4	アドバンテスト	27.9%	アドバンテスト	30.6%	東京エレクトロン	25.3%
	5	テセック	27.5%	テセック	28.7%	テセック	24.8%
半 導 体 製 品	1	テックポイント	30.8%	テックポイント	30.1%	テックポイント	30.7%
	2	湖北工業	29.8%	湖北工業	28.3%	フィックスターズ	29.5%
	3	浜松ホトニクス	20.5%	浜松ホトニクス	28.2%	ルネサスエレクトロニクス	28.7%
	4	芝浦電子	18.4%	フィックスターズ	26.8%	浜松ホトニクス	26.8%
	5	ローム	18.3%	ルネサスエレクトロニクス	24.1%	湖北工業	23.4%
商 社	1	高千穂交易	6.0%	高千穂交易	6.8%	高千穂交易	6.8%
	2	ミタチ産業	5.0%	ミタチ産業	5.7%	マクニカホールディング	6.0%
	3	マクニカ・富士エレホール	4.7%	マクニカホールディング	5.5%	東京エレクトロンデバ	5.7%
	4	加賀電子	4.3%	伯東	5.4%	立花エレクトック	5.1%
	5	東京エレクトロンデバイ	4.1%	加賀電子	5.4%	加賀電子	4.8%

出所=SRL

大手は、資金力はじめ資源は豊富で、中小には正面から対抗できないが、中小の強みは小回りが利き、特定分野に集中、変化に機敏に対応、シリコンバレーでは大手は中小を買収して、相乗効果によりさらに発展する形態が一般的になっている。

今年度売上回復だが利益は水面下

対象 132 社の計画では、今年度(25 年 3 月期)は売上で前期比 8%、経常利益で 10%増が見込まれている。この通りにいけば、売上は最高を更新するが、利益では過去最高だった 22 年度の水準に達せず、本格回復は 26 年 3 月期に持ち越されそうだ。

売上志向から利益志向へ

SRL では 2000 年代初期から関連企業の業績を集計・分析している。売上、利益それから利益率に焦点を当てており、変動はあるものの確実に利益志向を目指している傾向が出ている。